

寒い冬ほど「きりたんぼ」のお鍋はより美味しく感じます。鍋に付きもののピールは「冷蔵庫で冷やすより、窓際とか雪の付近に置いたほうが美味しい」と父はよく言っていました。そして、雪に入ると凍っちゃうので「置く場所が難しい」とも。そういう意味では冷蔵庫代わりに雪を利用していました。ただ私としては、雪が降り始めると「なまはげが来る」という子どもの頃の怖い体験があるので、「なまはげには会いたくないな」という苦い思い出が蘇ります。

父がスキーのインストラクターもしていたので、毎週末はほぼスキーの講習会でした。子どもの頃は教育の一環という感じでしたが、家族のコミュニケーションが取れる貴重な時間だったと思います。その頃の記憶はどんどん消えていきますが、雪の中での生活や雪を通して遊ぶことは大変だった反面、いい思い出になっています。

我が家では、雪寄せは家のお手伝いの一環として組まれており、朝、布団から出たくないところをたたき起こされるところから始まり、学校から帰って来てからも決まり事

のようにやっていました。雪が多く積もる地域では一家に1台除雪機があると思いますが、私の住んでいた由利本荘市はそれほどでもないで、雪かき用のスコップを使った手作業でした。

学校の帰り道、小さかった雪玉を転がしているともう押せないぐらいに大きくなります。家の近くに、それを重ねただけの雪だるまを作ると、近所の子どもたちが、枯れ葉で目を付けたり、石で鼻を付けたり、枝で手を付けたりとかして、知らぬ間に地域の雪だるまができあがります。そういう雪遊びを通したコミュニケーションはいつの間にかできていて、雪遊びは本当に楽しかったです。

田舎だと雪があるだけでみんなが遊べます。知らない子と雪合戦が一緒にできるのは、東京では考えられない楽しみ方です。実家で娘が雪遊びをしていて、知らない子と仲よくなることは結構あります。また、冷たすぎて手の感覚がなくなり、そのあとストーブにあたるとじんじんするというような、自分の手足の変化を感じられるのもいいです

し、雪が解けて“つくし”とか“ふきのとう”とかが見え始め「春が来た」ということを自然から実感できるのもいいですね。改めて、四季を感じられる素敵な環境にいたんだなと思います。

数年前、東京ですごく雪が積もったときがありましたが、近所の人はあまり雪寄せをしないんです。そこで私は本領発揮。雪寄せで人の家の前まで道を作ったり、通り道で飽きないようにと、子どもと一緒に雪だるまを作って飾ったりもしました。それがきっかけで、近所の人に声をかけてもらえるようになったり、娘がお菓子をもらったりと地域交流ができました。

私が雪の風景で一番好きな場所はスキー場です。頂上からの一望は「これ全部私のもの」という気分になれます。そして温泉ですね。雪の露天風呂というのは永遠に入っていられます。景色も綺麗で、熱くなったらちょっと出れば涼しくなるので、雪の露天風呂では女子会が延々と続きます。

今は東京に住んでいますが、実家の秋田は娘や息子たちが雪の生活や自然と触れ合うことができる所なので残しておきたいです。子どもたちには「いろんなものがあるんだよ」と教えていきたいと思います。また、私自身は「秋田の人」だという意識を忘れずにいたいです。

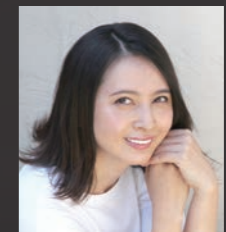
秋田というと「秋田美人」を思い浮かべる人が多いと思います。田舎はどこもそうだと思いますが「空気がおいしい」「お水がおいしい」「そこから作られる食事がおいしい」「温泉がいい」ということがあります。そういう所で育っていく人たちは「体の中から綺麗になっていくんだな」というのは感じています。だから「秋田美人」という言葉が生まれ、秋田に行けば綺麗になれると私は思っています。また、大きなイワガキやハタハタ、ブリッコも地元では食べられるけど他では食べられないといったものがたくさんあります。なので、秋田に来た人たちにはぜひそれらを味わっていただきたいです。

雪だるまつくり

特集
雪国の暮らしを支える除雪

MESSAGE

雪との思い出



加藤 夏希
KATO Natsuki

プロフィール
1985年秋田県生まれ。12歳でゲームソフトメーカーのイメージガールとしてデビュー。ジャーナリストから“超新星の登場”と絶賛される。『燃える!!ロボコン』に出演後、ドラマやバラエティ番組を中心に活躍する。アニメファンでありアニメ声優としての出演も多い。2004年からはファッション雑誌「JJ」の専属モデルとして神戸コレクション、東京コレクションなどにも出演する。高い演技で好感度抜群の「実力派女優」でありファッション・アイコンの風格たっぷりのトップモデル。そのファッションニスタぶりは商品プロデュースにまで及び、ファンタジックな魅力と自由なムードは生き方やライフスタイルまで女性の人気を集めている。出演作はドラマ「リアル・クローズ」「ハンチョウ〜警視庁安積班〜」シリーズや映画「エコエコアザラク」「花より男子F」など。